



2026年1月から新社屋に 移転 働き方の多様性を実現

具体的取組・成果

●製造の過程で使用する製品について、有害物質が出ないものに代替えています。
例)製品に付着した汚れを落とすための洗浄剤を、有害物質が出ないものに替えています。

●新社屋では働きやすさを追求！
ガラス張りのミーティング室で風通しの良い雰囲気になりました。

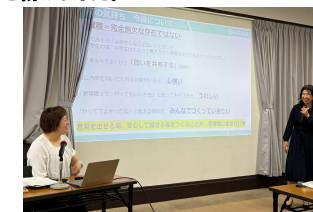


●新社屋に設置しているエアコンを省エネエアコンにすることにより、電力消費を抑えることでCO2排出量を削減し、地球温暖化対策に貢献します。また、工場に多数配置しているエアコンの温度設定を一カ所に集め、管理者が温度設定等を一元管理することにより節電効果を高めています。また、トイレは広さを確保し個室数を増やしたり、更衣室を整備し、性別・年齢問わず働きやすい環境づくりに注力しています。ジェンダーレストイレも1階2階それぞれ設置をしています。

●2023年より社内でもペーパーレス化に取り組み、バックオフィス業務のクラウドシステムを導入しました。従来紙で出していた社内申請書等を全てデジタル化し、紙の削減を7,700枚/年を達成しました。

●社員数50名以下ではありますが、産業界の社内巡視(隔月)や安全衛生委員会(毎月)を実施し、社内安全に取り組んでいます。また、メンタルヘルスⅡ種取得者も複数名在籍しており、ハラスメント窓口を従業員に周知相談しやすい環境になっています。年1回の健康診断受診率は、ここ数年間100%です。

●当社の6割は女性、管理職平均年齢は45歳です。「ぐんま女性活躍応援団」や「群馬県いきいきGカンパニーゴールド認証」を取得しています。女性管理職や子育て中のパート従業員のリーダー職も在席しており、どの立場の人も輝ける職場であることを当社は推奨しています。女性管理職は2025年に群馬県主催の人材が活躍出来る組織づくりを目指す「実践セミナー」の講師を務めました。



●人財こそが資産！従業員への投資を惜しみません。社外研修も積極的に取り組んでおり、新潟県三条市の中小企業大学校に毎年数名が行っています。経営・労務・女性リーダー向け・若手従業員向けなど様々なテーマを学び、学んできたことを社内に還元し、部下への教育に生かしています。中小企業大学校のホームページで、当社の声に記載されています。

当社にとってのSDGsビジョン

印刷業界全体では、紙媒体からデジタル化への移行が進んでおり、出荷額など減少傾向に歯止めがかからない状況ではありますが、通常の印刷業の枠組み捉えられない幅広い業務に取り組んでいる当社は、印刷業界の唯一無二の会社として、人の健康の維持と地球環境保全に努めてまいります。

今後の展望と求めるパートナー像

まずはやってみるチャレンジ精神を会社は応援します。今より一歩先へ、共に歩んでいきましょう。モノづくりを通して、持続可能な社会の実現に向けて共に歩んでいけるパートナー様を求めています。

株式会社丸吾

シール・ステッカー・ 切文字など各種印刷物の エキスパート



事業者紹介

当社は高崎市でシール・ステッカー・ラベル・銘板など各種印刷物の製作を手掛ける専門企業です。1989年の設立以来、シール印刷を中心に情報表示、商品価値向上、安全性向上に関する印刷物を主に製造してきました。ISO9001を認証・取得し、品質管理を念頭とした顧客満足度の継続的な向上と環境負荷削減を徹底し、「シール、インクジェット、シルク印刷」「切文字、プラスチック、彫刻加工」「施工・ラッピング」「建設業」の4つの分野において、業界の最前線を走り続けるために最新の技術と設備を導入し、革新を追求しています。

経緯・背景

当社は高崎市に位置し、首都圏に近いことから、物流の面で有利な立地条件を持っています。群馬県内を中心とした協会社30社との連携することにより、印刷物やそれに関わる様々な物の加工を少量～大量の対応を実現しています。お客様から多種多様なご要望をいただくなかで、製造過程で出るゴミが少ない製造方法は無いかなど、自社で一貫生産できる技術と設備を生かし、無駄なく製品を生産することを追求したいと考えています。

高崎市

住所 群馬県高崎市北原町280番地1
TEL 027-386-9137
URL <https://www.marugo-maebashi.co.jp/>
代表者 星野寛範
設立 平成元年3月31日
資本金 1,000万円
従業員 45名

